

Q12 《流れ図⑧》具体的な指導内容を設定するに当たって、気をつけることがありますか。



特別支援学級担任

児童の特性に合わせて（書くのが苦手・手先が不器用・集中力が途切れる・運動が苦手）、ビジョントレーニングに取り組んでいます。効果が出ているのかわかりません。



特別支援学級担任

児童の困難に応じて、それを改善する指導を中心に、行っているのですが、なかなかできるようになりません。



通級指導教室担当

具体的な指導内容を設定する際に、気をつけることがありますか。

A 具体的な指導内容は、ア 主体的に取り組む、イ 改善・克服の意欲を喚起する、ウ 発達の進んでいる側面を更に伸ばす、エ 自ら環境を整える、オ 自己選択・自己決定を促す、カ 自立活動を学ぶことの意義について考えさせるの6点について考慮し、設定します。

具体的な指導内容を設定するに当たっての配慮事項が、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編に以下のように示されています。

ア 主体的に取り組む指導内容

児童又は生徒が、興味をもって主体的に取り組む、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えることができるような指導内容を取り上げること。

イ 改善・克服の意欲を喚起する指導内容

児童又は生徒が、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲を高めることができるような指導内容を重点的に取り上げること。

ウ 発達の進んでいる側面を更に伸ばすような指導内容

個々の児童又は生徒が、発達の遅れている側面を補うために、発達の進んでいる側面を更に伸ばすような指導内容を取り上げること。

エ 自ら環境を整える指導内容

個々の児童又は生徒が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような指導内容を計画的に取り上げること。

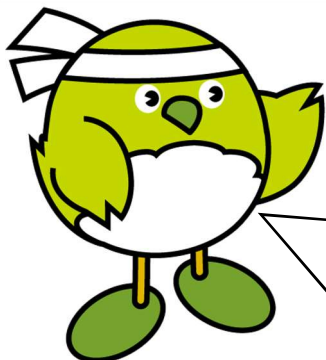
オ 自己選択・自己決定を促す指導内容

個々の児童又は生徒に対し、自己選択・自己決定する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高めることができるような指導内容を取り上げること。

カ 自立活動を学ぶことの意義について考えさせるような指導内容

個々の児童又は生徒が、自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるような指導内容を取り上げること。

困難に対して、繰り返し、決まった指導をするのではなく、これらの配慮事項を踏まえれば、「自分の障がいについて調べる」「周囲に支援を求める」「何を学んでいるのか考える」等の、具体的な指導内容も考えられます。



特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編のP.111~118に、各配慮事項の意味や具体例が、詳しく解説されています。

文部科学省  
「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」

